

川崎市介護サービス事業の より良い存続に向けて

川崎市議会議員 末永 直

9月27日、川崎市議会決算審査特別委員会、健康福祉分科会で、平成27年度介護保険事業特別会計の介護サービス費について質問しました。平成27年度の介護保険制度改正により、介護予防「訪問」介護と「通所」介護で、市町村が地域の実情に応じて実施する地域支援事業いわゆる「総合事業」へ移行され、市町村は支出抑制を余儀なくされました。結果、本市では要介護1、2の方でサービス量に関わらず月単位だった月額報酬から「訪問型」は「1週あたりの報酬」「通所型」は「1回あたりの報酬」設定に。お隣の東京都や横浜市にもないしくみです。利用者負担は減りましたが、介護事業所は収入が減り、厳しい経営状況に。事業所が倒産しては本末転倒です。皆が幸せになるような受け皿作りに向けた緩和策が必要であり、その旨要望しました。健康福祉局長は「来年度の『第7期計画いきいき長寿プラン』策定の中で検討したい」と今後の安定的な事業の運営と要支援者のさらなる支援の充実に向け推進する旨、答弁しました。今後の解決策に期待します。



末永 直 プロフィール

- 国立佐賀大学大学院 教育学研究科卒業
- 自民党参議院議員元秘書
- 昭和58年5月27日 33歳
- 政務活動事務所
〒211-0034
中原区井田中ノ町42-10
問合せ先 ☎044-789-5823

すえなが直 市政報告会

- 日時 11月22日(火)
18時30分～
- 場所 川崎市国際
交流センター
- 会費 3,000円